

十島村 おまかせ しまじゅく

平成27年4月7日に十島村で初めて開園した
「宝島いまきら園」第4回卒園式

これまでに9名卒園されています。今年は2名卒園されました。すくすくと元気に成長されることを願っています！



祝！卒業！小中学校卒業生紹介

私が一番心に残っている行事は、「御岳遠行」です。周りの友達と励ましあいながら、頂上まで登りました。先生や地域のみなさんには、とても優しく明るく接してもらいました。地域のみなさんには、道で会うと気軽に声をかけていただきました。先生方には、分かりやすく勉強を教えていただきました。家族には、たくさん笑わせてもらい楽しく過ごすことができました。これから島を離れて高校生活を送るのは多くの心配がありますが、頑張っていきたいと思います。

中之島中学校3年 藤谷 依風希さん

諏訪之瀬島小中学校



私の将来の夢である牛飼いになるために、中学生で頑張る目標は、自主的な予習復習をしっかりとしていくことです。学力をつけ、高校で畜産の勉強ができるようになります。島民の方々には、日頃から見守っていただきたり、助けてくれたりしていただきました。そのような優しい島民の方々に感謝しています。ありがとうございました。

諏訪之瀬島小学校6年 濱田 一馬さん

私は中学生になるにあたり、一つ一つのことを丁寧に行えるように意識して生活ていきたいと考えています。なぜなら、小学校の6年間で出来ることになったことや努力したことは、中学生になっても決して無駄にならないと思うからです。一つ一つのことを丁寧に行い、自分の成長につながる中学校生活にしたいと思います。最後に、今まで私を支えてくださった島民の方々へ感謝申し上げます。

諏訪之瀬島小学校6年 末吉 麟太郎さん

小学校生活一番の思い出は、七島集合学習です。集合学習では、他の島の人たちと授業をしたり、ごはんを作ったりしてとても楽しかったです。他にも、部屋の中でみんなとトランプをするのも楽しかったです。一番良かったのは、たくさんの人と話せたことです。先生方や地域の方にもお世話になりました。ありがとうございました。

中之島小学校6年 羽生 深理さん

私の将来の夢は、保育士になることです。私には、6人の弟がいて、小さい子はかわいいなと思ったからです。5年生の夏休みにほしのこ園で体験学習をして、保育士の仕事は大変だけどやりがいがあると感じ、大人になったら保育士をしたいと思いました。そして、「そら先生」と笑顔でよんでもらえる保育士になりたいです。

中之島小学校6年 小原澤 そらさん

ぼくの将来の夢は、人の役に立つロボットを作る事です。勉強を教えることができるロボットは、外国で学校に行けず困っている子どもたちを助けています。また、人ではできない事や危険な事ができるロボットを作つて人の役に立ちたいです。

中之島小学校6年 滝口 瞬季さん

8年前に中之島に来て、最初はとても緊張しました。地域のみなさんに優しく接してもらい楽しい生活を送ることができました。僕の一番の思い出は、「お別れ炊飯」です。自分たちで作ったカレーは、とてもおいしかったです。たくさんの行事をみんなで頑張ってきたことは、一生忘れません。将来の夢に向かって、高校の3年間、英語と数学に特に力を入れて頑張りたいと思います。

中之島中学校3年 中島 大志さん

地域のみなさんには、登下校中に「おはよう」や「おかえりなさい」と声をかけてもらったり、プリントを配るときにおかしをもらったりして、小さい頃から名前を呼んでかわいがってもらいました。今までありがとうございました。僕の将来の夢は、電気工事士になることです。たくさん資格を取れるように、高校で勉強をがんばりたいと思います。

中之島中学校3年 羽生 健琉さん

私の今後の目標と夢は建築士になって、人や環境に優しく社会に貢献できるような建物を造ることです。そのため、私は高校で建築に関する知識を深く学びたいと思っています。また、私は志望校である都城高専を受験するまで、先生方や里親さんや様々な方にお世話になりました。そのお世話になった方々にいつ会っても恥ずかしくないように、一生懸命頑張っていきます。一年間という短い間でしたが、ありがとうございました。

口之島中学校3年 佐藤 一馬さん

中之島小中学校



ぼくは、この小学校生活はとても楽しかったです。修学旅行では、ホテルで温泉に入ったりいっしょに他の島の人とご飯を食べたりしました。学習では、たくさんの場所をまわりました。集合学習では、ぼくのよく知っている中之島でも他の島のように楽しめました。そして、他の島の人の名前も覚えられました。だから、中学校ではこの経験を生かしたいです。

中之島小学校6年 藤谷 拓斗さん

ぼくは、将来しっかり働きお金を貯め少しでも優しい母に親孝行をしたいと思っています。母は、どんなに忙しい時でも必ず「ご飯は食べて行きなさい。」と言って、美味しいご飯を作ってくれます。他にも母は、「ぼくたちの笑顔を見られればそれでいい。」と言って何でもがまんして朝から夜まで働いています。ぼくは、そんなお母さんが大好きです。

中之島小学校6年 田中 流颯さん

春の訪れを感じ始めた3月。夢と希望に満ち溢れた18名の児童が中学校へと足を進め、11名の生徒が学び舎を巣立っていきます。卒業生11名は各学校や地域で学んだ多くのことを胸に、それぞれの夢・目標に向かって大きく羽ばたいてもらいたいものです。これからも頑張ってください。

口之島小中学校



小学校生活では、友達と話したり遊んだりすることがとても楽しかったです。運動会で一致団結して最後までやり切れたことや、持久走大会で新記録を出せたことは良い思い出です。将来の夢は、まだ、はつきりとは決まっていませんが、これから自分がしたいを見つけていきたいです。中学生では、学習が難しくなるので、積極的に取り組みたいです。お父さん、お母さん、友達や先生方、島のみなさん、今までありがとうございました。

口之島小学校6年 前 和真さん

私の小学校生活での一番の思い出は、臨海学校です。テントをはったり、レクをしたりしました。その中のスイカわりでは、初めて上手にわることができ、うれしかったです。他にも、きもだめしなどをして楽しみました。私は、小さい子が好きなので、将来は助産師になりたいと思っています。そのために、人に優しく、面倒見のいい中学生になれるようにがんばりたいです。また、中学校では新しい教科が増えるので、それも楽しみです。

口之島小学校6年 肥後 優衣花さん

私は一年前、小宝島に山海留学で来ました。小宝島は海と緑が美しい島です。そして、一番素晴らしいのは人だと思います。そんな小宝島での生活で学んだことは、「優しさ」です。船が来ず、食料も足りないときはお互いに助け合いました。苦しくてもみんなで助け合う優しさがあれば乗り越えられると気付きました。私は来年から東京の中学校に通います。東京に戻つても、私は小宝島の人のように優しく思いやりのある人になりたいです。

小宝島小学校6年 三尾 笑来さん

私の将来の夢はコンピューター関係の仕事に就くことです。のために特に数学と英語の勉強を頑張っていきたいです。学校生活の思い出の中で特に印象に残っているのは、修学旅行です。方向音痴だったせいで何度も道に迷い大変でした。島を離れることになりますが、これまでの感謝を忘れずに高校生活を頑張っていきたいです。

小宝島中学校3年 岩下 孟司さん

悪石島小中学校



私は、この島に来て4年。1年目は、学校生活も島での生活も、なかなか慣れることができず不安でいっぱいでした。しかし、そんな時に声をかけてくださったのは島の方々でした。毎日明るく、元気に見守ってもらい、島の行事やホエールウォッチングなど、ここでしかできない貴重な経験をたくさんさせてもらいました。今度は、私が島のよさを多くの方々に伝えていきたいと思います。4年間ありがとうございました。

悪石島小学校6年 片野田 楽さん

私は、4年前にこの島に引っ越ししてきました。初めての島生活は、不安ばかりでとても緊張していました。しかし、初めて会う私たちに島民の方々は優しく接してくださいり、あっという間にこの島が大好きになりました。船から降りた時の「おかえり」という言葉は、私の一番好きな言葉です。私も、島民の方々のように、人にあたたかく接することができる人になりたいと思います。4年間ありがとうございました。

悪石島小学校6年 片野田 奏さん

2018年6月、何も知らずに大阪を出て、初めてやってきた宝島。ここで貴重な体験をすることができました。なかでも、一番思い出になったのは文化祭です。5年生と2人でコンビを組み、休みの日にも練習した漫才。体育館全体をお客さんの笑顔でいっぱいにすることができ、発表する側の僕も楽しむことができました。中学校では、日々の学習や新聞部、バドミントン部の二つの部活に取り組み、より一層頑張っていきたいと思いますので、これからもよろしくお願ひします。

宝島小学校6年 今里 陽巳さん

小宝島小中学校



私は、この1年間でいろいろなことを知りました。勉強や生活のことはもちろん、筍採り方や釣りの方法も、知らなかったことを島民の方々が教えてくださいました。本当にありがとうございました。また、こうした経験を与えてくださった、お父さん・お母さん、先生方、ありがとうございました。中学校でも学習面でも遊びでも全力でがんばりたいです。

平島小学校6年 新田 真央さん

これまで支えてくださったお父さんやお母さん、先生方、地域の皆さん、ありがとうございました。私は将来、書道にかかる仕事に就きたいです。そのためには、もっともっと書道の練習を頑張りたいです。私は平島に来て、たくさんの思い出をつくることができました。中学生になっても、よろしくお願いします。

平島小学校6年 新田 真子さん

今まで支えてくださった先生方、地域の方、本当にありがとうございました。私は小学5年生から6年生までの2年間、この平島で過ごしてきました。平島の伝統の「トビウオすくい」や「福德神」などが経験出来て楽しかったです。将来、私はこの経験を生かした仕事に就職して、人の役に立ちたいと思っています。

平島小学校6年 松崎 ほの里さん

僕は、二年間この平島で過ごしました。ここでしか出来ない釣り、ダイビングなどをしました。そして地元に帰ったときは、格闘家・漁師の二つの夢に向かって、努力したいと思います。釣りに連れていた島民の皆さんありがとうございました。また、お世話になった寮監さん・寮母さんありがとうございました。

平島小学校6年 田尻 海輝さん

私は、小さい頃から過ごしてきた悪石島を旅立ち、石川県の高校に進学します。初めてできる同学年のクラスメートと切磋琢磨し、楽しい思い出あふれる高校生活を送りたいと思います。そして、いつかこの島に戻ってきたいと思います。

悪石島中学校3年 西 えほんさん

9年間の義務教育を終えて、無事に卒業の日を迎えることができて嬉しく思います。卒業することができたのは、今までたくさんの方々が支えて下さったおかげなのでたくさん感謝をしたいです。諏訪之瀬島を離れるのはとても寂しいですが、これまで学んだことを活かして一生懸命頑張りたいです。

諏訪之瀬島中学校3年 金森 七海さん

平島小中学校



来年から中学生になります。不安と緊張でいっぱいです。でも、今まで支えてくれた島民の方、保護者などのたくさんの人の為にも、これを乗り越え頑張ります。将来の夢は、ちゃんと決まっていませんが、パイロットになりたいです。今後の目標は、この島で学んで来たことを生かしていろいろなことに挑戦したいです。学校生活の思い出は、みんなと過ごした日々です。たくさん話をして遊んだり、学んだりしました。これからも今まで以上に頑張っていきたいと思います。

平島小学校6年 今井 若津さん

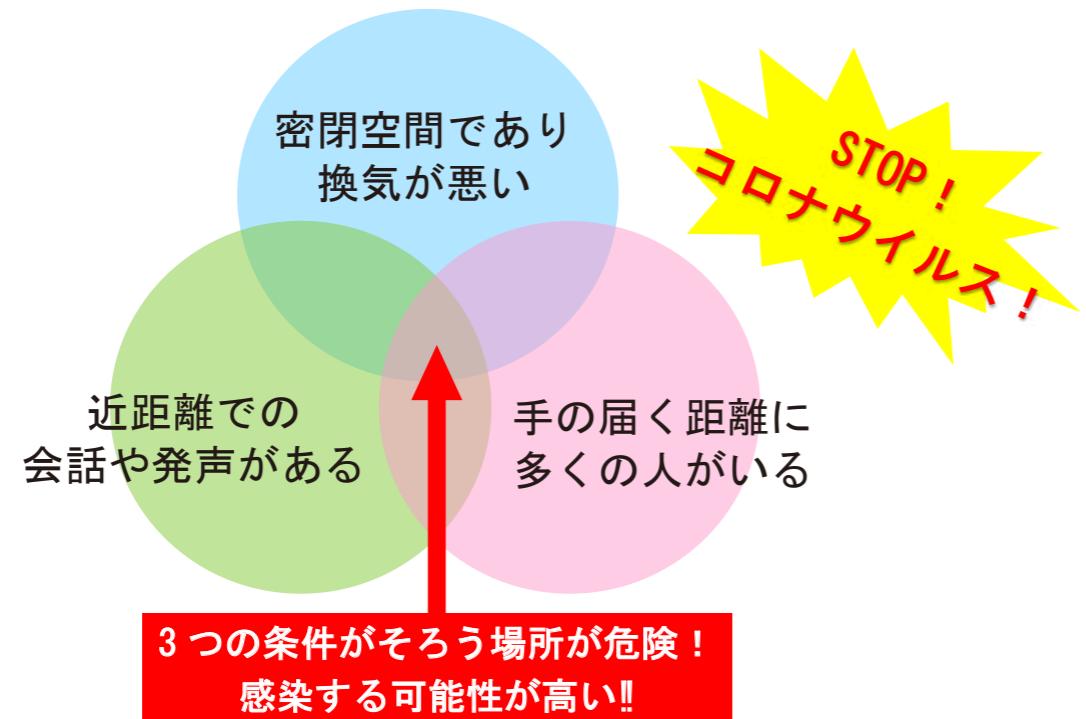
平島に来て三年が過ぎようとしています。平島小中学校に最初に来た時は、小中合わせて4人の児童生徒しかいませんでした。それから何年か過ぎ、私がここまで成長することができたのも、島民の皆さんや両親、先生方や友達のおかげです。本当にありがとうございました。実家に帰ってからは、この島で学んだことを生かして、たくさんの友達を作り、たくさん孝行したいと思います。また、自分の夢や目標も忘れずに、しっかり前に進んで行きたいです。

平島中学校3年 池田 美夕さん

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために

これまでに一人の感染者が複数に感染させた場所として、スポーツジム、屋形船、会食、雀荘、密閉された仮設テントなどが報告されています。

この場所に共通するのは、①換気の悪い密閉空間、②人が密集していた、③近距離での会話や発声が行われたという3つの条件が同時に重なった場ということです。



感染しないための三原則

① 換気を励行する！

窓のある環境では、可能であれば2方向の窓を同時に開け、換気を励行しましょう。

② 人の密度を下げる！

人が多く集まる場所には、会場の広さを確保し、お互いの距離を1~2m程度あけるようにしましょう。

③ 近距離での会話や発声、高唱を避ける！

周囲の人が近距離で発声するような場を避けてください。
やむを得ず会話が必要な場合には、マスクを装着するようにしましょう。

新型コロナウイルス感染症は、自分が気付かないうちに感染している可能性があるため、島外から帰島された方は、人混みや換気の悪いところ等への外出を2週間程度できるだけ自粛していただきますようお願い申し上げます。感染症対策にご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

宝島に山海留学生として来て、もうすぐ1年になります。1年間に遠足、体育大会、修学旅行と色々な事を経験しました。来年度から高校生となります。宝島で学んだこと、支えてくださった友人、先生、家族、地域の方々への感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

宝島中学校3年 田下 愛優さん

私の学校生活の思い出は、たくさんあります。そのなかでも特に思い出に残っているのが運動会です。私は中学3年生になって宝島中学校に転校してきました。人数が少ない分たくさんの競技に出てとても楽しかったです。

宝島中学校3年 保本 笑彩さん

私は9年間宝島小中学校で過ごしました。今年度は同級生ができ、共にたくさんのことを行いました。宝島で過ごす最後の年ということもあり、今年度は宝島小中学校で過ごした9年間の中で最も印象に残りました。こうして無事に中学校を卒業できるのは受験に協力してくださった先生方、共に頑張った同級生、応援し支えてくださった保護者、友達、そして島民の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

宝島中学校3年 平田 一華さん



ご卒業、おめでとうございます！

子牛のせりが行われました

令和2年3月 子牛せり市価格表									(税抜価格、単位:円)		
3月16日	開催	出荷頭数			合計金額			平均価格			
		去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計	
3月	40	13	53	24,751,000	7,145,000	31,896,000	618,775	549,615	601,811		
2月	13	9	22	8,970,000	4,791,000	13,761,000	690,000	532,333	625,500		
前月比	27	4	31	15,781,000	2,354,000	18,135,000	-71,225	17,282	-23,689		
最高価格者	去勢	氏名			価格		体重	日令	父	母の父	
		諏訪之瀬島 山木 保			886,000		309	275	秀幸福	喜亀忠	
雌	雌	中之島 平泉 二太			868,000		276	278	秀幸福	安福久	



◆山木保氏
去勢牛



平泉二太氏▶
雌牛

私の島履歴書

・2011年11月 宝島移住きっかけ

宝島に移住する前は、滋賀県に住み、働いていました。結婚し、妻が妊娠したタイミングで、南の暖かい静かなところで子育てをしたいと夫婦で話し合うようになりました。移住を考えました。

周辺の島々を調べているときに、「宝島」を発見。その時まで、「宝島」という嘘のような名前に強く惹かれ、そこから十島村について調べるようになりました。そこからは今考えても不思議ですが、屋久島や種子島は下見をしたのに、宝島は下見もせずに移住を決定、今に至ります。移住した時、長男は生後3ヶ月でした。

・2012年 移住後の暮らし

宝島でどのように暮らすかは、あまりイメージしていませんでした。前職から、自分で企画をして仕事を作ることが好きだったので、島でも自分ならではの仕事を考えようと考え、加工品に取り組みました。そんな中、島バナナを使ったコンフィチュール（ジャム）が、発売後すぐに鹿児島県の新特産品コンクールで賞を受賞しました。これをきっかけに加工品の開発に注力するようになります。

・2013年 加工品の展開

島バナナコンフィチュールが観光庁の「究極のお土産124選」に選定されました。宝島燻製加工組合をつくり、トビウオを使った燻製商品「島つま～トビウオ燻製オイル漬」の販売をはじめました。

・2015年 法人の設立

水産加工や芭蕉布加工の事業をまとめ、「一般社団法人宝島」を設立しました。

・2016年 水産加工事業の成長

水産加工事業を「はなみ丸商店」としてブランド化。冷燻加工の機械を導入、他にはない燻製商品を開発・発売しました。

・2017年 レトルト加工品の発売

レトルト加工を行える設備を導入し、レトルト食品「島ごはんシリーズ」を発売。現在までに6種類以上発売する人気商品となりました。また、OEM事業をスタートし、島外からも加工を受注するようになりました。



鹿児島市内で商品をお買い求めの方はこちらまで！

NPO法人 トカラ・インターフェイス（十島村特産品販売所 トカラ結プラザ）

〒892-0822 鹿児島市泉町 13-13-1F

TEL&FAX 099-223-0420

十島村のHOTな住民たち

VOL.2

十島村には、多くの方が生き生きと暮らしています。

このコーナーでは、そんな方々の仕事や日常を紹介していきます。

第2回は宝島で食品加工等を営む本名 一竹さんを紹介します。

十島村へ移住等を考えている皆さん、ぜひ十島村で暮らすという未来を考えてみませんか。

島の魅力

子育てが楽しくできるのが島のひとつの魅力です。島の自然の中でのびのびと素直に育ってくれています。公園の木の下で、今は生きおじいの「子どもの声がいつも聞こえるのが嬉しい」という言葉をよく思い出します。都会でよく聞くトラブルと無縁で、地域で見守る環境が島にあることに感謝しています。行政のサポートも手厚く、子育ての不安もなく暮らせています。

子どもは島の野鳥に夢中で、毎日カメラを持って撮影し、鳥の名前や生態を調べています。宝島ならではの学びが子どもを育てくれています。自分も、ゆっくりと島の自然をスケッチしたり、島の素材でものづくりをしてみたり、そういう余裕が生まれてきて、移住10年でやっと島の魅力の入り口に立てたような気がしています。



▲写真左

本名 一竹（36）

十島村の特産品

を使った商品を仲間と共に次々と開発、販売し活躍されています！



今後の課題

現在は、食品加工以外にも力を入れはじめています。最近になって発売した「オリジナルバッジ」は、食品加工をスタートしたときからずっと観光客の方に言っていた「食べ物以外のお土産がほしい」という要望に応えるものです。一つずつ手作りしていく、好評です。うちは夫婦で美術大学出身ということもあり、本来食品加工は専門外で、絵やものづくりのほうが得意だし、大好きです。各島で販売してくださる方を見つけて、島限定バッジを各島に用意し、島めぐりの楽しみの一つにするのが目標です。

また、最近は移住者も増えないどころか減ってしまい、寂しくなってしまいました。今まで役場任せで移住者が来るのをただ待つだけでしたが、今後は自分も積極的にPRできればと考えています。

7島だよりとは？

十島村では、地域づくりに力を入れており、各島の様子や地域づくり活動の様子など様々な島情報を伝えています。今月は主に1月～3月にかけて行われた各島の地域づくりの様子を掲載しています。

中之島

中之島ふるさとづくり委員会では、本年度も子供から大人までが楽しめるような島づくりを目指し様々な活動を行ってきました。中でも秋に開催したバーベキュー祭りは地域の方々にもご協力いただき、多世代が集まれるイベントとして好評いただきました。2月後半に予定していた講師派遣による中之島の歴史を学ぶ講演会が、新型コロナウイルスの影響により延期となってしまったのが心残りではありますが、これにめげず、来年度も島民の方々とともに故郷を守り、新たに作っていけるような活動を続けてまいります。



NAKANOSHIMA

悪石島

悪石島小・中学校では、毎年、保護者や島民の方々への日頃の感謝の気持ちを込めて、カレーと福神漬けの振る舞い＆レクリエーション大会を実施しています。(今年は2月25日実施)「みんなで食べるカレーはおいしいね！」と言ってもらい、お腹も心もいっぱいになった子どもたち。スリッパ飛ばしなどのレクリエーションでは、真後ろに飛ばすなどの珍プレーが続出。とても楽しい時間になりました。



AKUSEKIJIMA

小宝島

小宝島では、1月25日（土）に講師を小宝島へ招き、幅広い世代を対象としたワークショップを開催しました。「島の文化、昔話等の要素を入れた架空の話しの絵本を作る」というテーマのもと、子どもからお年寄りまで幅広い世代で話し合いができるように工夫しました。最終的に、意見交換で出た小宝島の文化、特徴等を文章・絵にし、絵本の原型が出来上がり、島の高齢者しか知らないような文化・昔話を全体で共有することで、今まで以上に地域に愛着・誇りが持てるきっかけとなりました。



KODAKARAJIMA

宝島

宝島地域づくり委員会では、2月28日、奄美市で観光ガイド事業を展開する白畠瞬氏を講師として宝島に招き、奄美地区と連携した今後の取組み方針等について意見交換を行いました。白畠氏はカヌー競技で日本代表選手に選出された実績を持ち、「カヌー」を通じた活動を幅広く展開されています。令和2年度においては、宝島、奄美大島間をカヌーで縦断するイベントや、宝島でのカヌー体験イベント等、「カヌー」を活用した地域づくり活動の実施を計画しています。



TAKARAJIMA

7島

だより VOL.4



口之島

令和元年度の事業結果報告及び来年度の予定についての話し合い

(令和2年2月25日) 参加者 10名 + 役場職員4名

★令和元年度事業の結果等について

①運動会助成 (24,000円) ②人材養成大学参加 (197,280円)

★運動会、文化祭の日程及び助成の説明

→来年度の運動会、文化祭は実施時期が別であるが、助成はどちらも行って問題ないかとのこと →どちらも問題ないと回答（担当者確認済み）



★来年度の地域づくりについて

①運動会、文化祭助成 ②夕涼み会での記念品の作成 (Tシャツ、タオル等)

③他島（まずは中之島）とのふれあい（スポーツ大会等）④口之島の良い所・悪い所の話し合い（全住民対象）

KUCHINOSHIMA

平島

令和2年2月22日に地域づくり事業の一環として、東之浜港に壁画を描きました。壁画のデザインは、小中学生の冬休みの共通課題として提出された中から、平島島おこし委員会で話し合いをおこない決定しました。当日は、多くの小中学生や住民の方が参加して、協力し完成することができました。平島にお越しの際は、是非ご覧ください。



TAIRAJIMA

諏訪之瀬島

アンケート結果について及び来年度地域づくりについての話し合い（令和2年3月5日）

参加者 ふるさとづくり委員会 5名 + 役場職員 3名

①令和2年2月実施の全世帯対象のアンケート結果について

○問1.～どのような地域にしたいですか～

「安全安心に暮らせる地域にしたい」が最も多かった。

○問2.～取り組んでみたいことがありますか～

・タケノコに関するイベント、飛行場を利用したイベント、お土産品・特産品の開発、天体観測・SNSでの情報発信等。など



②令和2年度の地域づくりについて

○島のみんなでいつもの地域行事とは違ったイベントを開催し地域の輪を広げていきたい。など
今回の「諏訪之瀬島地域づくりに関するアンケート」へのご協力の程、ありがとうございました。
これから地域づくりに活かしていきたいと考えております。なお、アンケート結果の詳細につきまして、後日、報告させていただきます。

SUWANOSEJIMA

十島村防災会議を開催しました！

十島村防災会議を2月17日に開催しました。

今回の変更は、県地域防災計画との反故の修正を主に実施しました。主な内容については、全般共通事項（防災関係機関等の追加）、一般災害対策編（村の地勢等、避難勧告の基準、避難所運営等に関する修正）火災災害対策編（現地災害対策本部要員の活動内容の変更、島外避難所に関する追記）及び資料編（福祉避難所の指定）であり、2箇所の修正です。中でも、避難勧告の基準については、大幅な変更であり、住民に対する周知徹底を図っていきます。



◀テレビ会議も使用しました



光回線インターネットサービスについて

現在、十島村では、無線を利用したインターネットサービス（トカラ結ネット）を平成22年12月からサービスを提供しております。しかし、無線でのサービスは、風水害の被害を受けることや、通信速度が遅い事から、現在光回線インターネットサービス開始に向けた工事をおこなっております。予定通り工事が完了すれば、令和3年12月頃に利用開始できる見込みとなっております。

令和2年度には、各家庭まで光ケーブルを接続する工事を予定しておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

なお、光回線インターネットサービスが提供開始と同時に現在の「トカラ結ネット」サービスは終了します。

事業年度	工事内容	工事完成時期
平成30年度	海底光ケーブル敷設 (中之島→諏訪之瀬島→平島)	令和元年9月30日
令和元年度	海底光ケーブル敷設 (中之島→口之島、宝島→小宝島)	令和2年9月末予定
令和2年度	島内光ケーブル敷設 (各家庭まで光ケーブル接続)	令和3年9月末予定
令和3年度	光回線インターネット開始に伴う各種調整	令和3年12月予定
令和3年12月サービス開始（予定）		
※工事の進捗状況によりサービス開始時期が前後することがあります。		



2月7日に秋田県男鹿市で、来訪神サミットが開催され、悪石島盆踊り保存会の有川和則会長と有村孝一教育長が参加しました。これは、平成30年11月2日に「来訪神・仮面・仮装の神々」として、8県10行事がユネスコ無形文化遺産に登録された記念に開催されたものです。サミットは、菅原広二男鹿市長（来訪神行事全国協議会長）のあいさつで始まり、続いて文化庁の小林稔主任文化財調査官による講演「来訪神・仮面・仮装の神々」があり、「来訪神行事」のもつ魅力やユネスコ無形文化遺産登録の経緯などについて話されました。次に、「来訪神行事を未来へつなぐ」というテーマでシンポジウムが行われ、保存会や自治体で携わっている方が、保存や継承に向け意見を交わしました。ここで、有川会長も悪石島の盆踊りやボゼについて堂々と発表しました。最後に、5つの団体による来訪神行事の実演がありました。どれも迫力があり、会場と一体となつた発表が繰り広げられました。地域が一丸となつて伝承されてきた来訪神は、時代は変わつても地域の活力を育て広めていくことが期待されます。

来訪神サミットが開催されました！

十島村では、鹿児島県及び県内市町村が共同で運営している「鹿児島県電子申請共同運営システム」を利用しています。

住民と行政との間で行われる各種申請・届出（住民票の写し等）について、現在の書面による手続に加え、インターネットを利用して、24時間いつでも自宅や職場のパソコンから各種申請・届出を行えるようにしたものです。

利用可能な手続きについては「かごしまe申請ポータル」（鹿児島県電子申請共同運営システム）に接続し、十島村の手続一覧をご参照ください。

※一部公的個人認証サービスによる電子証明書が必要な手続きがあります。

人と動物が共生する地域社会を目指して

・最後まで愛情と責任を持って飼いましょう。

飼主には、終生飼養の責任があります。ペットを飼い始めたら、ペットがその命を終えるまで、愛情を持って適切に世話をしましょう。また、不妊・去勢手術をしてきちんと世話ができる頭数にしましょう。

・社会のルールやマナーを守りましょう。

犬は登録と狂犬病予防注射をしましょう。放飼いや鳴き声、ふん尿など地域社会に迷惑をかけないようにしましょう。また、ペットを捨てるのは犯罪です。捨てられたペット自身もかわいそうですが、人や動物を襲ったり、生態系に悪影響を及ぼす場合もあります。

・人と動物の絆——ずっと一緒にいるために

ペットは私たちの生活に潤いと安らぎをもたらしてくれます。ペットの存在が、家庭内や隣人との会話を増やして人間関係を円滑にしたり、子ども達に自分より弱い者に対するいたわりの心や、命を預かる責任の重さと命の大切さを教えてくれます。また時には、ペットの存在が生きていく力や明日への希望になることもあります。人と動物は強いきずなを結ぶことができます。

しかし、その絆はただペットを飼えば生じる物ではありません。動物とのきずなは、毎日きちんと世話をし、ペットの命を守り、ペットに気持ちになって考え、一緒に幸せになろうと努力していく過程で結ばれます。

・飼主の心得

- ①ペットの正しい知識を得る
- ②ペットの種類に会った飼い方や生態
- ③健康管理と望まない繁殖を防ぐ（避妊去勢）
- ④必要最低限のしつけ



飼主の皆様のご理解とご協力をお願いします。

③八代目
クイズの答え

お気軽に役場、
もしくは各島
消防団にお問
い合わせくだ
さい！



～募集人員～

- | | |
|-------|----------------|
| 口之島 | 2名 (男:1名、女:1名) |
| 中之島 | 2名 (男:2名) |
| 諫訪之瀬島 | 2名 (男:1名、女:1名) |
| 平島 | 1名 (女:1名) |
| 悪石島 | 1名 (男:1名) |
| 小宝島 | 2名 (男:1名、女:1名) |
| 宝島 | 6名 (男:4名、女:2名) |

～募集資格～

十島村に住む 18 歳以上 70 歳未満

～年報報酬～

- ①団員年額 40,000 円～
- ②出動手当 3,500 円 ※2 時間以上

～各種制度～

公務災害補償、退職金制度あり

消防団員を募集しています！
十島村消防団では、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、あらゆる災害に出動だけではなく、地域の防火・防災啓発など多岐にわたり活動を行なっています。地域のために活動・貢献したいという方の入団をお待ちしております！

十島村長・村議会議員選挙（令和2年4月26日執行予定）

4月21日（火）告示の十島村長・村議会議員選挙は、次の日程で執行します。

一番身近な選挙です。有権者の皆さんにおかれましては棄権することのないよう選挙制度へのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

投票の日時 4月26日（日）午前7時から午後4時まで（各島の投票所）

口之島での期日前投票 4月22日（水）～25日（土）

（口之島地区コミュニティセンター）午前8時30分から午後8時まで

十島村役場での期日前投票 4月22日（水）～23日（木）

（鹿児島市泉町 14-15）午前8時30分から午後8時まで

不在者投票を利用する場合は、事前に十島村選挙管理委員会にご連絡ください。

投票者の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大対策として、次のことをお願いいたします。

- 1 投票所の混雑を避けるため、投票の開始時間、終了時間はなるべく避けましょう。
- 2 入り口は、間隔を空けて並ぶよう床にテープが貼ってあります。
- 3 消毒液が置いてありますので、最初に手の消毒をしましょう。
- 4 マスクを着用しましょう。
- 5 期日前投票ができる方は、出来るだけ期日前投票を利用しましょう。

十島村役場選挙管理委員会（総務課内）

TEL 099-222-2101

令和2年度「春の全国交通安全運動」！

令和2年4月6日（月）～令和2年4月15日（水）

スローガンは、

『**しっかりと 止まってかくにん 横だん歩道**』

です！

1. 子どもを中心とする歩行者の安全の確保
2. 高齢者運転者等の安全運転の励行
3. 自転車の安全利用の推進
4. 飲酒運転の根絶



飲酒運転4（し）ない運動

- ・運転するなら酒を飲まない
- ・運転する人に酒を提供しない
- ・酒を飲んだ人に車を提供しない
- ・酒を飲んだ人の車に同乗しない

～ 十島村子育て世代包括支援センターからのお知らせ ～

なぜ予防接種が必要なのでしょうか？



子どもたちを感染症から守るために行います。子どもたちは成長するまでにたくさんの病気にかかります。たいていは軽いかぜくらいですみますが、なかには重い症状があらわれたり、後遺症が心配されたりするものがあります。また、命にかかるようなこわい病気もあります。それを防ぐために免疫をつくっておこうとするのが予防接種です。

予防接種について正しい知識を持ち、よく理解したうえで受けるようにしましょう

● ● ● 予防接種の効果 ● ● ●

病気の感染予防

病気に対する免疫を持つことで病気にかからないようになります

発病の防止

感染しても症状がないですむようになります

症状の軽減

感染して発病してしまっても、軽度の症状ですむようになります

病気のまん延防止

感染・発病しなければ人にうつすことがないので、感染症のひろがりを防ぐことができます

一子ども一 予防接種週間

令和2年 3月 1日 ~ 7日

4月からの入園・入学に備えて
必要な予防接種をさせ両親を未だに防ぎましょう



● ○ ● ○ ● 感染症を予防するために大切なこと ● ○ ● ○ ●

うがい・手洗い 外出先から帰ってきたら、うがい・手洗いを習慣に、まずは大人が見本を見せましょう。

水分補給で口の中をうるおすことでも細菌やウイルスの繁殖を抑える効果があります。

タオルの共有を避ける 手についた見えない細菌やウイルスにタオルから感染してしまうことがあります。

まめに取り替えて清潔にしておくことも大切です。

オムツの処理時の注意 下痢や病気のとき、また病気の症状が治まったあともしばらくは細菌やウイルスが便に出ているので、使用後のオムツはしっかり密封して捨てましょう。

オムツ替え後は手洗いもしっかりとしましょう。

人ごみを避ける 外出の日程や内容を見直すことも必要です。感染症の流行時期には、できるだけ人ごみを避け、ゆっくり過ごすようにしましょう。

子育て支援拠点施設



めぐみ先生 3年間ありがとう



☆節分たのしかったね☆



ジェイク先生と英語あそび♪♪



各園の活動



小学生との交流



看護師さんと
マスク作ったよ♪



たのしいクッキング



小1・2年生と
おみせやさんごっこ♪♪



新規採用職員を紹介します

新たに2名の職員が採用されました。2名を紹介いたします。



住民課
宮井 美津子
みやい みづこ

地域おこし協力隊の高齢者支援員として2月から平島で勤務します。私は年女のねずみ年、
ねこまず
ずっと元気で
みんなで仲良く
健康長寿を目指します。みなさんどうぞよろしくお願ひいたします。



地域振興課
岡田 尚也
おかだ なおや

地域おこし協力隊の農業支援員として活動している岡田です。食べることが好きです。それが起点となって、食をつくり出す農業にもずっと関心があります。この“いのちをつくる産業”がいろいろな方にとってもっと身近に、そしてもっと魅力的に感じられるような活動を目指します！

令和2年度採用の自衛官を募集しています。

募集種目	資格	受付期間	試験期日		試験場
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。	受付時にお知らせします。	
一般曹候補生	18歳以上 33歳未満の者	3月1日～5月15日 7月1日～9月10日	1次試験 5月23日 9月19日	鹿児島第2地方合同庁舎 鹿児島県建設センター	
航空学生	高卒(見込含) 21歳未満の者(航空) 23歳未満の者(海上)	7月1日～9月10日	1次試験 9月22日	鹿児島第2地方合同庁舎	
陸上自衛隊 高等工科学校	中卒(見込含) 17歳未満の者	11月1日～1月6日	1次試験 令和3年1月21日	鹿児島第2地方合同庁舎	

※ 防衛医科大学校（医学科・看護学科）及び防衛大学校につきましては下記案内所へご連絡下さい。

また、自衛隊には多種多様な受験種目がありますのでお気軽にお問合せください。

◆問合せ先：自衛隊鹿児島地方協力本部鹿児島募集案内所 ☎ 099-251-7802 (FAX兼用)
十島村役場 総務課 政策推進室 ☎ 099-222-2101

共同募金・歳末助け合い運動の御礼

共同募金・歳末助け合い運動の際には、住民のみなさまのご理解・

ご協力をいただき、ありがとうございました。

おかげさまで、237,477円の募金が集められました。

皆様からの善意の募金は、鹿児島県共同募金会を通じて、支援を必要としている方々への見舞金品等として活用されます。

みなさまのご理解・ご協力に深く感謝致します。



問い合わせ先
十島村住民課福祉係
電話：099-222-2101
FAX：099-223-6720

戦没者等のご遺族の皆様へ

○特別弔慰金の趣旨

今日の我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表するため、戦没者等ご遺族の代表者お一人に特別弔慰金（記名国債）を支給するものです。

○支給対象者

戦没者等の死亡当時のご遺族で、令和2年4月1日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人にご遺族の代表として支給。

- 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
 - 2 戦没者等の子
 - 3 戦没者等の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹
- ※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
- 4 上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪等）

※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

○支給内容 額面25万円、5年償還の記名国債

○請求期間 令和2年4月1日から令和5年3月31日まで

(請求期間を過ぎると第十一回特別弔慰金を受けることができなくなりますので、ご注意ください。)

○請求窓口 十島村役場 住民課 健康福祉室（099-222-2101）

離島割引についてのお知らせ

現在、十島村では、有人国境離島法（平成29年4月1日施行）に係る「鹿児島県特定有人国境離島地域航路・航空路運賃低廉化事業」により、十島村の住民及び住民に準ずる者（準住民）を対象とした、フェリーの運賃引き下げを実施しています。

令和2年度からは、島外の学校に通う大学生や専門学校生も準住民として運賃引き下げの対象に追加される見込みとなっておりますのでお知らせします。

	変更点	現行 住民が扶養し、島外に居住している18才以下の児童・生徒等 変更後 住民が扶養し、島外に居住している学校教育法第1条に規定する学校、専修学校及び各種学校に在学する者（※） ※小・中・高・大学等の学校や専門学校等が対象となります。
対象航路・割引額	現行の有人国境割引と同一	対象となる方で、準住民のカードをお持ちでない方は、十島村土木交通課航路対策室にて発行手続きをお願いします。 ※ 今回新たに対象となる方へのカードの発行手続きは4月1日からの受付となります。
準住民の認定手続き	現行の有人国境割引と同一	対象となる方で、準住民のカードをお持ちでない方は、十島村土木交通課航路対策室にて発行手続きをお願いします。 ※ 今回新たに対象となる方へのカードの発行手続きは4月1日からの受付となります。
お問い合わせ先	十島村役場土木交通課航路対策室	電話 099-222-2101

村営定期船 フェリーとしま2

令和2年4月運行予定

※無投票選挙の場合、変更になるのでホームページ等御確認下さい。

鹿児島 ⇔ 十島村 ⇔ 名瀬
十島村 土木交通課 航路対策室
TEL: 099-222-2101
フェリーとしま2
TEL: 090-3022-4523

選挙特別便

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
予定	入出	入出		入出		入	出		入	出		入	出		入	出		入出		入出		入出		入出		入出		入出		入出	
便区分	名瀬便 (臨時便)	名瀬便		名瀬便		名瀬便		名瀬便		宝島折り返し	中之島停泊	宝島停泊	名瀬2泊便	名瀬停泊	名瀬停泊	口之島停泊	名瀬便	名瀬便 (臨時便)		名瀬便 (臨時便)											

TOSHIMA クイズ

現在就航中の「フェリーとしま2」、島と本土を繋ぐ定期船として何代目の船になるでしょう？

- ①三代目
- ④十代目
- ②五代目
- ③八代目



答えはページのどこかにあるよ！

広報としまへの広告掲載募集！

●広告の規格・掲載料（すべて消費税別）

縦13.0cm×横8.5cm 月額10,000円

縦13.0cm×横17.0cm 月額15,000円

A4サイズ1頁 月額30,000円

●広告掲載の申し込み

広報誌広告掲載申込書（第1号様式）に広告案を添えて総務課にご提出ください。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報係

〒892-0822 鹿児島市泉町14-15

tel:099-222-2101

よろしければ皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

十島村の人口・世帯数 令和2年2月29日現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	58	59	117	68
中之島	87	67	154	90
諫訪之瀬島	34	32	66	35
平島	42	40	82	44
悪石島	39	37	76	36
小宝島	32	32	64	34
宝島	59	55	114	63
合計	351	322	673	370